

【校長だより】

次の100年に向けて ～自立と貢献を目指して生徒と共に歩む～  
— 湊川高校は2029年創立100周年を迎えます—

二学期、保護者の皆様、支援いただいている皆様のおかげをもちまして終えることができました。平素は湊川高校のため、ご協力をいただき心より感謝いたします。

さて、二学期の校長だよりを作成しました。湊川高校で頑張る生徒や教職員の声をまとめました。これで読んで下さった保護者の皆様、生徒、支えてくださる皆様方が元気な気持ちで、これからも湊川高校でともに歩いていけたらと思います。今後ともご協力をお願いいたします。

**生活体験発表会** 第74回兵庫県高等学校定時制通信制  
生徒生活体験発表 神戸地区大会  
優秀賞 2年 井上 龍誠  
第74回兵庫県高等学校定時制通信制  
生徒生活体験発表大会  
サンテレビ賞 2年 井上 龍誠



#### 2年1組 井上 龍誠 さんの話

—神戸市では優秀賞、県大会ではサンテレビ賞でした。頑張ったことは。

井上 さん 「聞く人にわかりやすい文書を書きました。県大会では原稿を覚えて紙を持たずに発表しました。」

—これまでの高校生活を振り返って。

井上 さん 「県の生活体験発表会でサンテレビ賞をもらい、誇れるものができました。」

—これからの抱負を。

井上 さん 「働きながら通信教育で社会科の教員免許をとり、将来は高校の社会の先生になりたい。」

12月13日(金)水畑奨学金の授与式が校長室で行われました

水畑奨学金授与対象生徒 3年2組 井上 榎音

#### 3年2組 井上 榎音 さんの話

—高校生活で頑張ったことは。

井上 さん 「まわりに流されずに、自分の考えをしっかりと持つことが出来るようになりました。」

—三年間を振り返り、変わったことは。

井上 さん 「1年の時はこうじゃないといけないと考え、みんなについていくのが必死でしたが、今は無理せず自分で考えて行動し、自分でコントロールできるようになりました。」

—井上さんにとって湊川高校は。

「心のよりどころ。いやなことがあっても先生がよく話を聞いてくれる。心がたもたれています。」

—奨学金は何に使いますか。

「この奨学金は専門学校進学に使います。専門学校に行き、将来は保育士になりたい。」

### 住本 拓自 先生の話

－78 回生の 3 年主任として卒業が目前となりました。これまでを振り返って。

住本先生 「この学校に来た時から生徒の自己肯定感を高めることを目標に取り組んできました。岩崎先生に提案して 3 行日記や MVP ファイルなどを実践しています。生徒には自分に自信を持ってほしいし、自信を持って卒業してほしい。三修制の生徒全員が卒業することを目標に頑張っています。」

－住本先生自身がこの 3 年間で変わったことは。

住本先生 「視野が広がったこと。来たときはこの学校のことを知らなかったが、知れば知るほど深いものがある。何事も常識と思わず、一歩立ち止まって考えることができるようになりました。」

### 濱上 香子 先生の話

－濱上先生は 6 年前に生活指導員として赴任され、今は理科の授業、総務部、保健部、副担任そして通級担当として活躍されています。この 6 年を振り返って。

濱上先生 「私は最初に兵庫高校で勤務し、それから特別支援学校などいろいろな学校を経験しました。そういった意味で、湊川は自分にとって集大成の学校です。私がやってきたことすべてが集約されていて、自分の経験が生かせる学校と思っています。」

－通級なども含め、生徒のかかわり方で心がけていることは。

濱上先生 「まずは信頼関係を築くこと。私は『あなたと仲良くなりたい』というスタンスで生徒と接しています。」

### 大道 彩夏 さんの話

－大道さんは本校に今年 4 月に着任されました。振り返って。

大道さん 「生徒に様々な困りごとがあり対応が難しいところがありますが、一人一人に丁寧に接しているのが時間が足りないと感じます。今は、優先順位をつけて仕事をしています。」

－本校の事務室で仕事をしていて感じることは。

大道さん 「みなさんがハウレンソウ(報告連絡相談)を細かくしてくれるので、とても仕事がしやすいです。コミュニケーションがとりやすく、たすかっています。」